

## 刊行のことば

わたくしどもベネッセ教育研究所は、1980年に設立されて以来、子どもや教師の意識・実態調査、教材研究、教育動向分析等を行ってまいりました。この間の研究成果の一部は、小・中・高校生を対象とした調査報告書「モノグラフ」、中学校教師を対象とした教育情報紙「進研ニュース(中学版)」等の発刊物や、講演会・シンポジウムなどを通して教育関係者の方々に情報提供の形でお届けしております。

さて、今回発刊いたしました「第2回学習基本調査報告書」は、1990年に実施した第1回調査とほぼ同じ調査項目で調査を実施し、その結果をまとめたものです。この調査は、全国の小・中・高校生を対象にしており、今回2度目の調査を実施することにより、小学生から高校生まで子どもが成長することによる学習実態の変化だけでなく、時代による変化もみることができました。6年前とどの程度の変化があるのか、ぜひご覧いただければと思います。今後もこの調査を数年ごとに実施し、時系列に沿った変化をより明確に把握していきたいと考えています。

調査分析にあたりましては、お茶の水女子大学の耳塚寛明先生、聖心女子大学の樋田大二郎先生、国立教育研究所の菊地栄治先生、お茶の水女子大学の中西祐子先生にご協力いただきました。この報告書が多くの教育関係者の方々のお役に立てれば幸いです。

なお、末筆ながら調査にご協力いただきました諸先生方、児童・生徒の皆様には厚く御礼申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

ベネッセ教育研究所  
代表 島内行夫

## 目次

本調査の特徴	2
調査概要	3
本報告書の要約	4
トピック A. 小・中・高校生の比較	10
B. 1990年との比較	11
付表《1980年～1996年 教育トピック》略年表	12
C. 学校週5日制、新教育課程、メディアの影響をめぐって	13
<b>第1章 中学生の学習行動</b> 菊地 栄治	15
第1節 学校での授業について	16
第2節 家での勉強の様子	23
第3節 学校外の学習機会	32
第4節 勉強の方法	35
第5節 メディア利用の状況	41
<b>第2章 中学生の学習観・成績観</b> 菊地 栄治	43
第1節 中学生は自分の成績をどうとらえているか	44
第2節 成績観・学力観	48
第3節 よい成績をとるためには	51
第4節 勉強の効用	54
第5節 勉強していて感じること	56
第6節 学習上の悩み	60
第7節 価値観・性役割観	63
<b>第3章 比較分析</b>	
小学生、中学生、高校生の学習行動と意識の比較 中西 祐子	65
第1節 学習行動の比較	66
第2節 学習に対する意識の比較	74
付表 小・中・高校生比較表	82
資料1 調査票見本	86
資料2 基礎集計表	102